

社会福祉法人春風会

ぬくもりの里ホームヘルプサービス

ホームヘルプサービスのICT化 ～シズケア*かけはしの活用～



サービス種別	訪問介護
所在地	伊豆の国市白山堂408-9
電話番号	0558-76-7306
職員数	17人
設立	2000年
メールアドレス	pflege-ohito@cy.tnc.ne.jp
ホームページ	http://www.shunpuukai.com

取組紹介

1 「シズケア*かけはし」を使って多職種連携

「シズケア*かけはし」の活用により、訪問診療の医師や看護師から直接、訪問時のご利用者の様子や状態報告の連絡が届くこともあり、医療と介護の連携チームの一員としての自覚やホームヘルパーとしての誇りを持つことができた。

2 急な状態変化にも対応できるリアルタイムな情報共有

コロナ禍において、医療的リスクの高い方やターミナル期の方が、在宅療養を希望されることが多くなった。状態がすぐ変わってしまう利用者の支援において、「シズケア*かけはし」を活用し、リアルタイムな情報共有をすることができた。

3 意外に使えたiPadとポケットWi-Fi

平均年齢55.3歳。年々高齢化していくヘルパースタッフではありますが、iPadとポケットWi-Fiを全員が使いこなし、「意外と私たち、時代に適應できているじゃん。」と褒め合い、新しい取組にも積極的に挑戦する雰囲気ができている。

受賞者メッセージ

iPadの導入時には扱いに不慣れなスタッフから不安の声が多々ありましたが、いざ導入すると全員扱うことができ、今では、iPadとLINEでヘルパー間の連携をとっています。また、シズケア*かけはしを導入することで事業所内だけでなく、医療機関など事業所外とも円滑なコミュニケーションがとれるようになり、ヘルパー一人ひとりが安心できる訪問活動を実施出来るようになってきました。

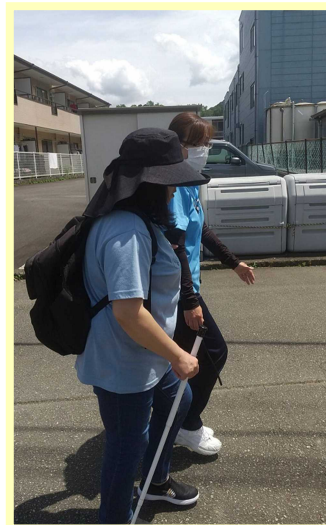


Pick UP!

安心と信頼のかけはしを目指して!!

◆取組を始めた経緯

コロナ禍の医療リスクのある方に対する訪問は、訪問介護の職員だけでは不安でした。サービス担当者会議もZoom開催や顔を合わせない照会に変わり、連携不足を感じていました。そこで多職種との連携強化のために、介護現場におけるICT化として「シズケア*かけはし」の利用を始めました。



(ご利用者への訪問)

◆取組の概要・特徴

医療スタッフとのリアルタイムな情報共有は、活動する上で、安心と信頼のかけはしになると考えました。

一人ひとりのご利用者へ必要な時に適切なケアを提供するため、シズケア*かけはしを活用して、自宅からヘルパー会議（Zoomミーティング）に参加し、食事量の減少など普段と異なる点があればすぐに共有するなど、ご利用者の情報をリアルタイムで共有し、助言しあっています。

◆工夫したこと苦労したこと

当事業所では、職員17人が一人当たり1月に100件以上の訪問をしています。また、自宅から訪問する登録ヘルパーも多く、情報共有がとても大切なため、一人一台iPadとポケットWi-Fiを導入しました。

操作に不安がある職員もいましたが、主任ホームヘルパーを中心に職員間で操作を教えあうことで、全職員が各々のiPadとポケットWi-Fiを活用し、常に訪問先でも情報共有を図ることができるようになりました。



(iPadなどICT化)

◆取組の成果

私たち介護スタッフの報告により、サービス内容の方針が見直されることもあり、医師や看護師から直接の声をもらうことは私たちの励みになります。

実際の記録や画像の共有により、医師や看護師がどのような処置や医療を施しているのかも分かるようになりました。また、ペーパーレスや個人情報資料の電子化によりヘルパーが持ち歩く荷物の量も減り、効率化にもつながりました。

今後に向けて

市内においてもまだ、一部の病院の訪問診療でしか「シズケア*かけはし」は導入されていません。様々な医療機関やサービス事業所、行政機関も加わることで、様々な対象者へ必要な時に、適切なケアが提供できるように、緊急時や大規模災害時に対応できるシステムへ拡がっていくことを期待しています。